

令和5年度 事務事業マネジメントシート	事務事業No.	12-	11
事業名	都市計画経費	会計 一般	款 8
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	項 4	目 1
施策	9-1 良好な居住環境の形成	課名 建設課	
		係名 都市計画係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東員町	目的 (対象がどのような状態になっているか)	土地利用や都市施設などを適切に定めることで、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進する。
事業内容		都市計画マスターplanの推進を図り、計画的な都市整備を図る。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1 市街地・居住環境整備に関する満足度	-	-	-	%	↑	↗
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和4年度（決算）		令和5年度（決算）		令和6年度（予算）
全体事業費（千円）A+B			5,991		13,248		15,351
財源 内訳	直接事業費A		183		5,658		8,211
	うち一般財源		166		5,642		5,694
人件費（千円）B			5,808		7,590		7,140
内訳	一般職員（人・千円）		0.88		5808		1.06
	臨時職員（人・千円）		0		0		0.08
							144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

（1）事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
		コストの削減	A削減の余地はない			
総合評価	I 拡充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

（2）事務事業の業務改善について

①R5年度の改善計画	現行のマスタープランの目標年度が令和7年度となっており、マスタープランの改訂、及び立地適正化計画策定に向けた取組を進める。	③取組の課題	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、計画的なまちづくりを推進するために、目指すべき将来像をより明確にする必要がある。
②R5年度に実施した取り組み	都市計画道路は、長期間未整備となっている路線が多いことから、その必要性を検証し、見直し等の方向性を示すことを目的に、都市計画道路見直し検討業務を行いました。	④今後の改善計画	現行のマスタープランの目標年度が令和7年度となっており、将来の町のありかたを検討するまちづくり検討委員会を設置しマスタープランの改訂に向けた取組を進める。